

くらしいきいき



様似小学校児童会
様似中学校生徒会

による赤い羽根共同募金活動



さまに社協だより

No. 96

- ・共同募金結果報告P2-3
- ・社協基本方針、事業計画、予算.....P4-5
- ・いきいきニュースP6-7
- ・お知らせP8

(令和7年4月18日)発行

🔴 この社協だよりは赤い羽根共同募金配分金の一部が使われています。🔴

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金結果

今年度もたくさんの募金があつまりました！

10月1日から12月31日までの期間で町民の皆様からたくさんの募金をいただき、誠にありがとうございました。

また、貴重な時間を募金活動にご協力いただいた奉仕員の皆様、大変ありがとうございました。皆様から集まった心温まる善意の募金は地域福祉の推進のために役立てられます。今後とも赤い羽根共同募金運動並びに歳末たすけあい募金運動にご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金

398, 215円



- 戸別募金 170,779円 地域の方々からの募金(159世帯)
- 法人募金 169,000円 町内法人からの募金(62件)
- 学校募金 15,029円 様似小学校、様似中学校(2校)
- 職域募金 25,472円 様似町役場・アポイ山荘・ソビラ荘・幼児センター
保健福祉センター(5事業所)
- 協力店募金 17,935円 マルサン工藤商店・セイコーマート様似店・ヨネタ商店
中村おやき店・ツルハ様似店・南産業・武岡石油・ニッソー石油(8店舗)



歳末たすけあい募金

667, 000円

- 戸別募金 667,000円 地域の方々からの募金(1,334世帯)

歳末たすけあい募金の助成

令和7年度 歳末たすけあい募金による助成は6事業

新生児祝品贈呈事業

新生児(赤ちゃん)の誕生を祝福し、その子の健やかな成長を願う様似町に住所がある世帯に祝品を贈呈します。(新規事業)

小学校新入学児童祝品贈呈事業

様似小学校へ入学する児童へに向けて学用品を贈呈します(新規事業)

老人福祉活動(敬老会)事業

自治会福祉部活動の一環である敬老会及びお食事会等を通じて高齢者の見守り体制事業に1人(65才以上)500円の食事代を助成しています。開催時の写真を添付し、速やかに申請してください。

会員弔慰供物奉てん事業

不幸にして亡くなられた方の家族に、葬祭香料(線香セット)を奉てんします。

社協だより「くらしいきいき」発行

地域住民の方々へ広く情報提供を行うために、4月と9月に社協だより「くらしいきいき」を赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金助成金により発行しています。

これからも共同募金にご協力をよろしくお願いいたします。



認知症及び寝たきり高齢者等紙おむつ助成事業

寝たきりの高齢者等に紙おむつ・リハビリパンツなど購入費用の一部を助成し、本人の経済的負担の軽減を図っています。

*対象者⇒ 町内に住所を有し、施設入所していない方が日常的に紙おむつ等の使用が必要な状態で次のいずれも該当していること

- ・介護認定要介護1以上
- ・紙おむつ、リハビリパンツ、紙パンツ用尿取りパットを常用

*申請時⇒紙おむつ等対象商品の領収書合計1万円以上が必要

※これら助成金事業は毎年行われるものではありません。



令和6年度 基本方針・事業計画・予算

～ 基本方針 ～

少子高齢化の進行や地域住民の価値観の多様化等を背景に、地域福祉の課題はますます複雑化・複合化・潜在化する中で、地域の福祉ニーズに対して複数の機関、特に町行政と連携して課題に取り組むことが必要となってきました。

その一方で、地域人口の減少や地域経済の鈍化等の影響で、福祉に関わる担い手の確保の難しさが依然と深刻化しており、新たな事業、新たな課題等の取組みに支障をきたしている現状でもあります。

こうした情勢を踏まえて、現行事業の継続性についての再検証を含んだ今後の社協本来の理念に基づいた事業展開、更には、町独自の高齢者サービス事業の受託・継続等の再構築、児童福祉事業の充実、介護保険事業経営、職員組織体制、更には町行政との対等な連携のもと重層的な支援体制にどう対処し、どう社協の存在感を発揮するかを検討しながら「地域福祉の推進を図ることを目的とした団体」として、次のような事業を継続・推進していきます。

～ 事業計画 ～

1. 在宅福祉活動の推進

(1) 在宅福祉サービスの推進

- ①移送サービス事業(受託・福祉有償運送)
- ②給食サービス事業(受託)
- ③障害者居宅介護事業(自立支援法)
要介護認定調査(受託)

2. 地域福祉活動の推進

(1) 啓発、普及活動

- ・社協だより「くらしいきいき」の発行
- ・社協ホームページによる発信

(2) 高齢者福祉の推進

- ・長寿祝者への祝品贈呈(満百歳)
- ・弔慰供物奉てん(線香セット・一般会員含む)
- ・寝たきり高齢者等紙おむつ助成事業
- ・自治会敬老会活動助成事業(自治会福祉部)

(3) 児童福祉等の推進

- ・様似町子ども会育成連絡協議会活動費助成
- ・小学校新入学児童祝品贈呈(新規事業)
- ・新生児祝品贈呈(新規事業)

(4) 低所得者福祉支援事業の推進

- ・生活福祉資金貸付事業(道社協事業)
- (5)生活(福祉)総合相談体制の推進
 - ・相談窓口の充実
 - ・生活困窮者自立相談支援事業への協力
- (6)様似町共同募金委員会との連携
 - ・赤い羽根共同募金運動の推進
 - ・歳末たすけあい運動の推進

3. ボランティア活動の推進

(1) ボランティア団体の育成、支援

- ・様似町婦人ボランティアアポイ活動費助成
- ・ボランティア活動普及事業

4. 災害ボランティアセンターの体制整備

(1) 災害時等要援助者支援体制の整備

- ・町地域防災計画への参加、協力
- ・行政との要援護者情報の共有化
(要援護者台帳等)

(2) 災害ボランティアセンター体制の整備、研究

- ・センター設置、運営マニュアルの作成
- ・センター活動財源及び活動敷材等の確保検討

5. 社会福祉協議会活動の強化

(1) 経営基盤の安定(財政)

① 自主財源の確保

- ・会員会費(普通会費・特別会費・団体会費)
- ・福祉寄付金
- ・収益事業(自動販売機販売手数料)

② 共同募金運動の推進

- ・一般募金配分金
- ・歳末たすけあい募金配分

③ 公的補助(町)の継続維持(職員人件費)

(2) 職員体制等事業

① 職員配置等の強化

- ・人材確保及び定着

② 職員研修の推進

- ・スキルアップ研修等参加(専門知識充実)

③ 職員資格取得奨励

④ 情報の伝達、共有化(指示・報告・連絡・相談)

6. 介護保険等サービス事業

(1) さまにホームヘルプサービス事業所の経営

① 訪問介護(介護予防含む)

② 障害者居宅介護

(2) さまに居宅介護支援事業所の経営

① 居宅介護支援(ケアプラン作成等)

② 要介護認定調査(受託事業)

(3) 介護保険事業(所)等の健全化経営

① 適切な事業評価、コスト把握

② 不採算部門(受託含む)の段階的撤退

7. 様似町福祉関係団体等への

参画及び協力

(1) 様似町福祉関係団体等

- ・様似町地域ケア会議
- ・地様似町域公共交通会議
- ・様似町高齢者事業団
- ・他 町内5団体協議会

～令和7年度 法人本部拠点区分収支予算書～

収 入

科 目	R7 予算額	R6 予算額	比 較
会費収入	1,554,000	1,800,000	-246,000
寄附金収入	1,000,000	1,000,000	0
経常経費補助金収入	32,851,000	29,210,000	3,641,000
受託金収入	17,362,000	17,389,000	-27,000
負担金収入	0	0	0
介護保険事業収入	20,179,000	22,440,000	-2,261,000
障害者福祉サービス収入	2,010,000	1,703,000	307,000
受取利息配当金収入	7,000	5,000	2,000
その他の収入	105,000	105,000	0
積立資産取崩収入	0	0	0
合 計	75,068,000	73,652,000	1,416,000

支 出

(単価:円)

科 目	R7 予算額	R6 予算額	比 較
人件費支出	60,579,000	56,369,000	4,210,000
事業費支出	9,375,000	9,022,000	353,000
事務費支出	7,702,000	7,287,000	415,000
共同募金配分金事業費	463,000	350,000	113,000
生活福祉資金貸付事業	61,000	61,000	0
負担金支出	265,000	240,000	25,000
その他の支出	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
積立資産支出	4,000	2,000	2,000
合 計	78,449,000	73,331,000	5,118,000
当期資金収支差額	-3,381,000	321,000	-3,702,000

科 目	R7 予算額	R6 予算額	比 較
前期末支払資金残高	7,081,000	4,419,000	2,662,000
当期末支払資金残高	3,700,000	4,740,000	-1,040,000

災害ボランティアセンター調印式



10月7日「様似町災害ボランティアセンター設置及び運営等に関する協定」の締結が様似町社会福祉協議会と様似町の間で行われました。

大規模災害発生後の被害の復旧・復興に向けて、被災者を支援したい人(ボランティア)と支援を願う人(被災者)とを結びつける(マッチング)ため現地に案内所の役割を担う機能(災害ボランティアセンター)が必要であり、体制整備を町と共に図っていきます。

浦河地方法人会様似支部様より歩行器寄贈



3月31日、浦河地方法人会様似支部(工藤仁支部長)様より在宅生活歩行に不安のある方が活用できる歩行器1台の寄贈が有りました。

同支部からは社会活動(貢献)の一環として、令和3年度より車いす6台の寄贈が有り、工藤支部長は「今後も継続して地域に貢献したい」と述べていました。

北海道共同募金会より災害見舞金を贈呈



3月21日、北海道共同募金会より2月1日の火災被害に遭った2世帯へ災害見舞金が交付されました。

この制度は、火災及び風水害等の自然災害の被災者に対し、共同募金運動の理念「相互扶助」の精神に基づくものであります。

「何もかも使えなくなったので、見舞金ありがたい」と被災者の方から感謝の言葉を述べていました。

小学校新入学児童祝品贈呈



3月25日、この4月に様似小学校に入学する児童に向けて、色鉛筆、クレパス太巻き、学習ノート等の入学学用品セット目録を様似町教育委員会(秋山教育長)を通じて寄贈しました。

この学用品は、皆さんから寄せられた「歳末たすけあい募金」の一部を活用しています。

様似町婦人ボランティア・アポイ様より雑巾の寄贈



毎年、様似町婦人ボランティア・アポイ様より手縫いの雑巾を寄贈していただいています。訪問介護事業に活用しています。ありがとうございました。

日高地区ボランティア研修会



令和6年10月25日、浦河町総合文化会館3階ふれあいホールで「ボラネット・スキルアップ事業(つなぎ・つながるボランティア第15弾)」研修会が行われました。

内容は「自然災害から命を守る」と題して北海道地域防災マスターの飛驒剛氏による講演会、災害時を想定した調理実習の昼食(ポリ袋クッキング)、午後からはダンボールベッドの作成と疑似体験など盛りだくさんの研修会でした。

参加したボランティアの皆さんは「ポリ袋クッキングのアルファ米を使った親子丼や蒸しパンなど災害時でもポータブルのガスコンロとポリ袋で温かい食事がとれることが分かり勉強になった」と話し合っていました。災害が起こる前に準備しておくことが大切だと気づき有意義な研修会でした。

善意のご寄付ありがとうございます

(令和6年9月1日～令和7年3月31日)

氏 名	寄付金	氏 名	寄付金
佐藤 茂吉 様(朝日丘)	30,000 円	今野 道博 様(平宇)	30,000 円
幕田 茂 様(旭)	50,000 円	野崎 多恵子 様(東京都)	20,000 円
樽館 栄子 様(大通2)	30,000 円	藤田 富美子 様(港町)	30,000 円
相内 寛 様(栄町)	30,000 円	大澤 睦子 様(会所町)	100,000 円
加藤 嘉啓 様(大通2)	100,000 円	鵜木 政彦 様(栄町)	30,000 円
加藤 イネ 様(平宇)	30,000 円	中村 弘 様(平宇)	50,000 円
新保 正秋 様(本町1)	50,000 円	三春 タキ 様(岡田)	30,000 円
笹島 秀則 様(大通1)	50,000 円	匿名希望 様	30,000 円

～心からお礼申し上げます～

《様似町社会福祉協議会の新規事業紹介》

新生児祝品贈呈事業

令和7年4月より様似町に住所がある新生児世帯に対して、1万円の商品券を贈呈します。出生後に様似町から連絡があり、保健師と同行して寄贈する予定です。

小学校新入学児童祝品贈呈事業

令和7年4月から様似小学校に入学する児童へ入学学用品セット5千円分を贈呈します。



この事業の財源は、皆さんから寄せられた「歳末たすけあい募金」の一部を活用しています。

くらしいきいき第96号

(令和7年4月18日発行)

住 所 様似郡様似町大通2丁目98番地の2 様似町保健福祉センター「きらく」内

電 話 0146-36-4505 FAX 0146-36-4510

メール samshakyo@helen.ne.jp

URL <https://www.protech-web.co.jp/homepage/samani-shakyo>

(7月より閲覧可能)